

第9回大郷町町民会議の内容をとりまとめました。

テ ー マ	大郷町のごみ処理について
開催日時	平成31年1月21日（月） 午後6時～7時30分
参加人数	5名
ご 意 見	1 各地区によってごみ集積所の数が違うので、集積所までの距離が遠い方がいて大変では？
	2 高齢者等でごみ集積所までのごみ出しができない方への支援が必要では？

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

今後、町の施策を企画・立案するうえでの参考とさせていただきます。

第9回大郷町民会議

日 時：平成31年1月21日（月）
午後6時から

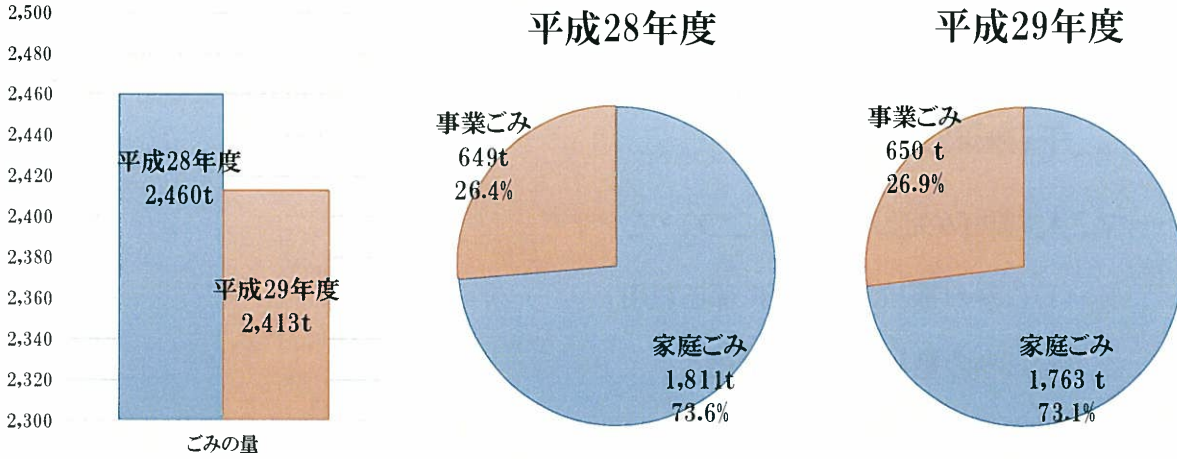
テーマ：大郷町のごみ処理について

- (1)ごみの量とごみ処理に係る費用
- (2)ごみの量とごみの減量化

(1)ごみの量とごみ処理に係る費用

①年度別ごみの量

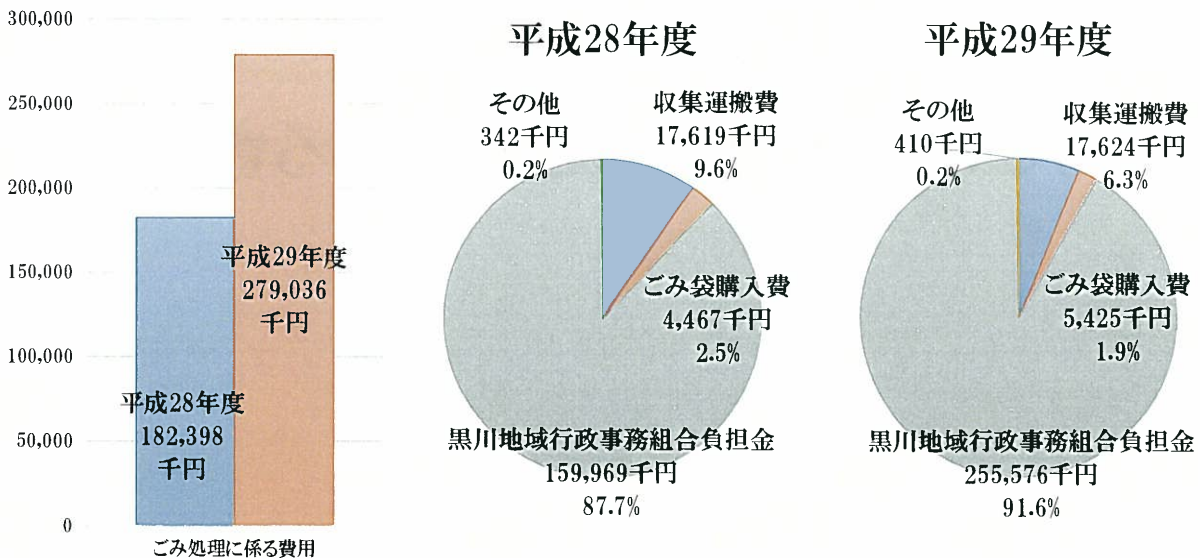
町のごみの量は、平成28年度で約2,460tです。平成29年度は、前年度より約47t減少して約2,413tになっています。このごみの量は、25mプールで約23杯分になります。
また、ごみの内訳は約3/4を家庭ごみが占めています。



- 2 -

②年度別ごみ処理に係る費用

大郷町のごみ処理に係る費用は、各ごみ集積場からの収集運搬費用や、黒川地域行政事務組合への負担金で、平成28年度で約1億8,240万円です。平成29年度は、前年度より約9,600万円増加して約2億7,903万円で、町民一人あたりに換算しますと約33,000円負担していることとなります。

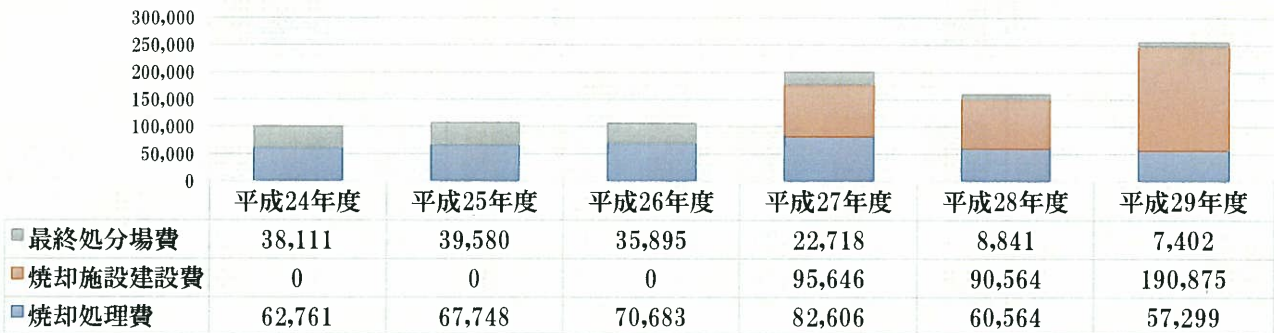
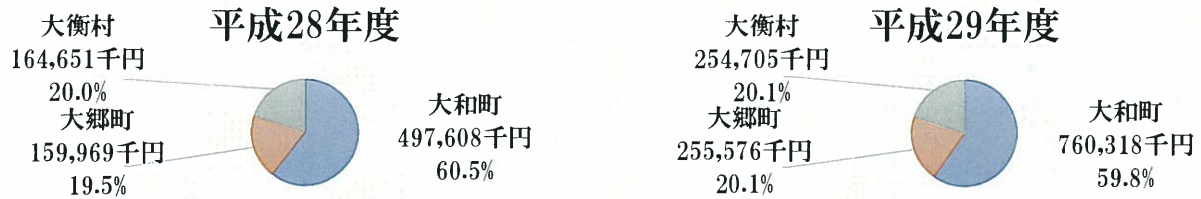


- 3 -

③黒川地域行政事務組合負担金とは

黒川地域行政事務組合の負担割合は、黒川郡3町村ごとに搬入したごみの量の割合で決定されます。平成28年度では、大郷町が、平成29年度では大衡村の負担割合が少なくなっております。

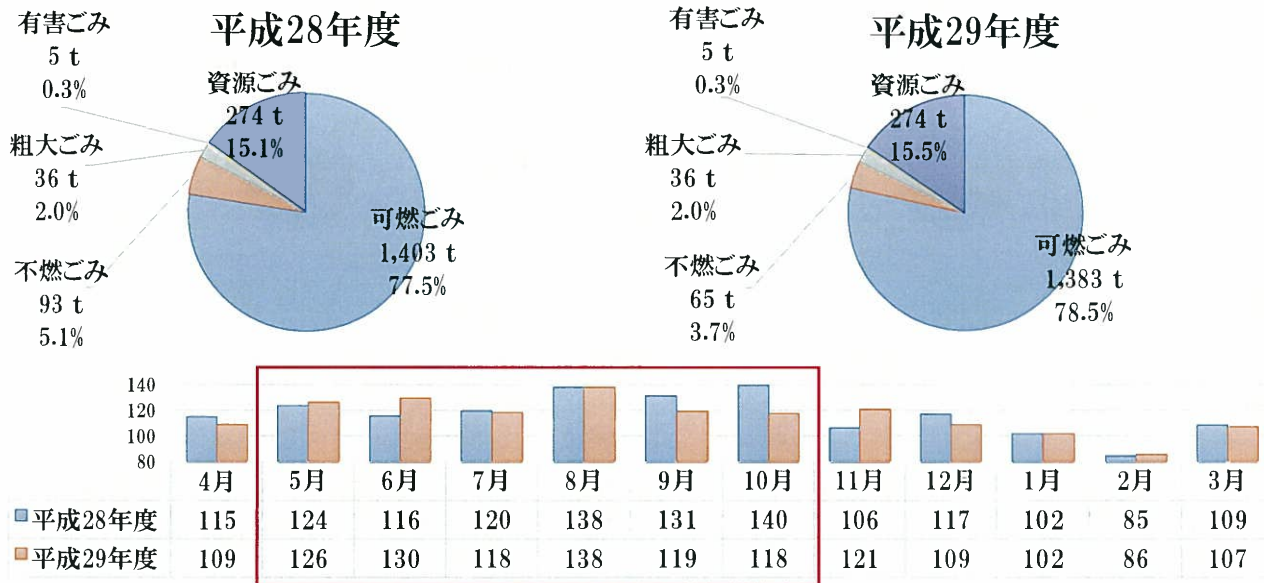
また、3町村が共同で使用している最終処分場は、既に埋め立て率が5割を超えております。3町村それぞれがごみの減量化に取り組む必要があります。



(2)ごみの量とごみの減量化

①家庭ごみの分別

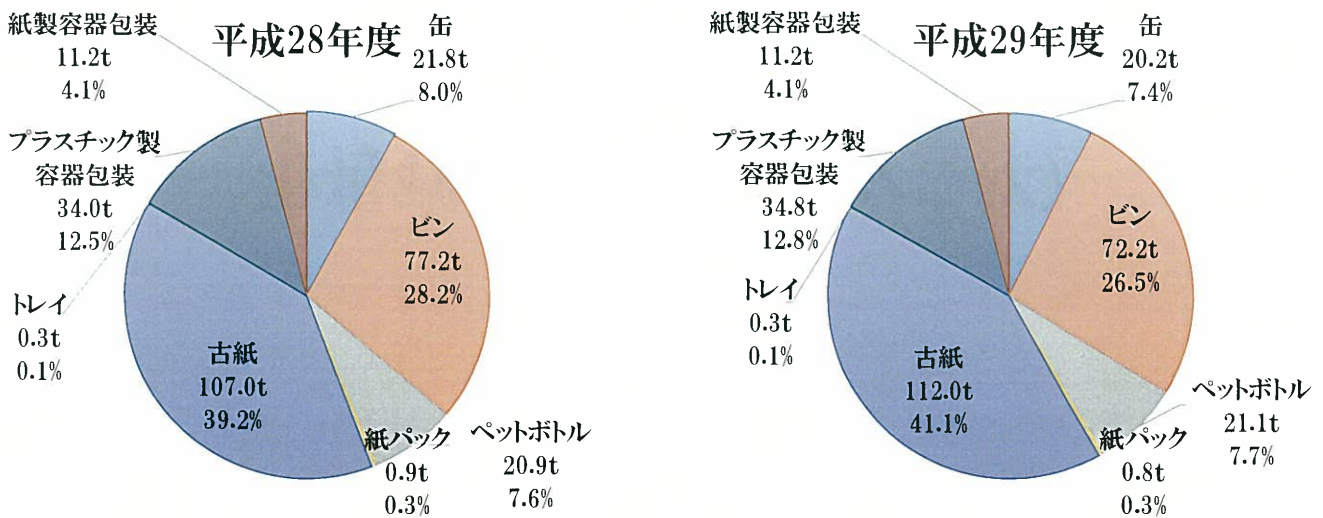
家庭ごみを分類ごとにみますと、可燃ごみが約3/4を占めています。発生時期は、5月から10月にかけて多くなっています。これは、除草後の草や、生ごみの水分が原因によるもので、乾燥させることで、発生量を抑えることができます。



- 6 -

②資源ごみの分別

資源ごみを種類ごとにみますと、古紙の割合が約4割を占めています。また、平成30年度から可燃ごみとして排出していた紙類(雑がみ)が資源ごみに加わりましたので、可燃ごみの減少と資源ごみの割合の増加の両方が期待されます。



- 7 -

③ごみ減量化の3R運動とは

1. Reduce(リデュース)／発生抑制の工夫

2. Reuse(リユース)／再使用の工夫

3. Recycle(リサイクル)／再生利用の工夫

- 8 -

④ごみ減量チェックシート

1. Reduce(リデュース)／発生抑制の工夫

- 買い物はマイバックで行う
- シャンプーなどは詰換え用の物を選ぶ
- パック詰よりバラ売りを選ぶ
- 過剰包装は断る
- 使い捨て商品の購入は避ける
- 買い物は事前にメモをして、不必要な物を買わない
- 長く使える物、修理可能な物を選ぶ
- エコクッキングを心がけている ※エコクッキングとは・・・材料を無駄なく使い、調理すること
- 食べ残しをしない
- 職場などでマイコップを使用し、紙コップなどの使い捨て容器は使用しない
- 修理しながら大事に長く使う
- 雑きんやおしぼりを使い、なるべくティッシュを使わない
- 使わなくなった歯ブラシを掃除に使用している

2. Reuse(リユース)／再使用の工夫

- ビールビン、牛乳ビン、酒ビンなどは、繰り返し使うことができる容器(リターナブル容器)を選ぶ
- 処分する前に、ほしい人がいれば譲る
- 不要になったものを作り変えて(リフォーム)使用している
- 裏紙をメモ用紙などに使用している

3. Recycle(リサイクル)／再生利用の工夫

- 地域の集団回収やスーパーなどの拠点回収に協力している
- 町の分別収集に協力している
- リサイクルされた商品を積極的に使用するようになっている。
- 生ごみ処理容器を使い、生ごみの堆肥化をしている。

- 9 -